

2010年3月22日(月曜日)

平成22年度
当初予算

ふるさと福井の元気再生予算

2月定例県議会において、県の平成22年度当初予算が成立しました。一般会計の予算総額は4,996億6700万円余で、昨年度の当初予算に比べ3.9%増加しており、12年ぶりに2年連続前年度を上回る予算となっています。

今回の予算では、一日も早く景気の回復を確実なものにし、成長につなげていくとともに、全国的に高いレベルにある本県の学力や子育て、優れたものづくり技術などをさらに伸ばして暮らしの質の向上を図り、ふるさと福井の“元気”を再生することを目指しました。

予算の概要

22年度当初予算のポイント

財政の規律を保ちながら、積極的な経済・雇用対策を実施

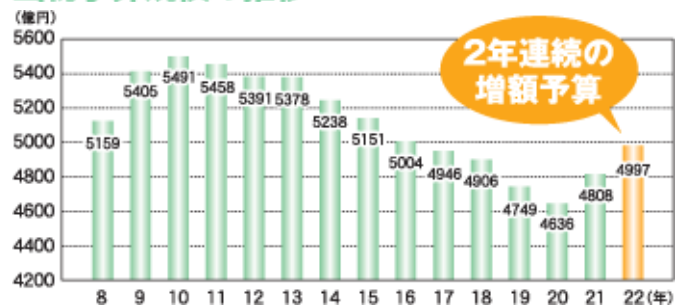
- 新年度の一般会計の規模は、4,997億円で対前年度比3.9%の増
- 当初予算と平成21年度2月補正予算を一体として編成
- 事業規模913億円(予算規模375億円)の経済・雇用対策を実施
- 歳入は実質県税収入が73億円減の946億円となる一方で、地方交付税は82億円増の1,166億円
- 収支不足が生じる部分については35億円の基金を取り崩して対応し、22年度末の基金残高見込みは176億円
- 県債の残高は237億円増の8,801億円
増加の要因は全額交付税措置される県債発行額の増加によるものであり、財政健全化の指標は大きく悪化しない見込み

予算規模

(千円以下は切捨て)

会計区分	22年度当初予算額	対前年度比 (21年度当初)
企業会計	4,996億6,733万円	103.9%
一般会計	121億927万円	65.3%
特別会計	286億9,838万円	101.8%
計	5,404億7,499万円	102.5%

当初予算規模の推移



① 回復から成長を目指す経済・雇用対策

厳しい経済・雇用情勢に対応して、一日も早く景気を回復させ、さらに新分野への展開を支援するなど前向きな投資を促進させることで経済の“元気”を再生し、本県経済の成長につなげます。

雇用対策

新たな雇用の創出

雇用創出のための基金の活用や離職者などの職業訓練の拡充などにより、4,000人の新たな雇用を創出し、介護や農林水産業分野などへの就職を支援します。



職業訓練の様子

学生の就職支援の強化

大学・短大を卒業するものの就職の見込みが立たない学生に対して、一時的に雇用を確保して継続的に就職活動ができるように支援します。

さらに、高校生を対象に就職相談や求人確保を行う就職支援コーディネーターを、公立・私立の高校へ50名(21年度の25名を倍増)配置し、高校生の就職を支援します。



介護分野への就職を応援する
福祉就職フェア

雇用の安定・維持

生産調整などによって雇用維持に努める企業に対し、国の助成に加えて県独自に上乗せ助成を行うほか、休業中の従業員に対して技能向上のための教育訓練を行う場合の講師の派遣などについても支援します。

中小企業の経営安定

資金繰り支援

売上げや受注の減少などにより厳しい経営環境にある中小企業を支援するため、経営安定資金などのセーフティネット資金について総額610億円の融資枠を確保し、資金繰りを切れ目なく支援します。

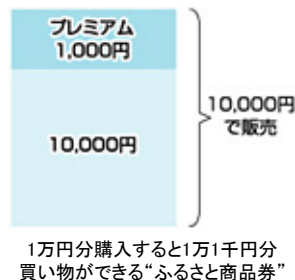
成長分野への展開

次世代の成長分野である環境・エネルギーや医療・福祉などへ進出するものづくり中小企業や、新分野進出に意欲的な建設業者に対し積極的に支援を行います。

県内経済の活性化

社会基盤整備の促進

国の公共事業費が大幅に削減される中、本県の発展に不可欠な事業を積極的に行います。また、経済対策として、県単独事業に前年度を56%上回る規模の予算を確保し、橋梁の耐震化や道路、農業排水施設の補修など、社会基盤の保全・長寿命化を前倒しで実施します。



電気自動車で省エネ

“ふるさと商品券”の発行

県内の消費を拡大するため、10%のプレミアムが付いた“ふるさと商品券”を販売し地元商店街などでの消費を喚起します。また、県外からの来県者に対しても飲食店・土産物店の紹介マップなどをつけて商品券を販売し、消費の呼び込みを図ります。

環境投資の推進

地球温暖化防止を進めるため、一般家庭における太陽光発電や省エネ設備の設置への助成を行うほか、電気自動車用の急速充電器を県内3カ所に設置し、電気自動車の導入を進めます。

県民生活の安心確保

施設などの耐震化の促進

学校や福祉施設、民間木造住宅などの耐震化を引き続き進め、県立学校の耐震化率を84.3%に、公立小・中学校の耐震化率を78.9%まで上昇させます。

医師確保に向けた取組み

県内で働く医師を確保するため、魅力ある研修環境を整え全国から研修医を集めるほか、県内の公的病院・診療所に福井大学の医師を派遣するシステムを作り、地域医療を支える体制を整えます。

救急医療の確保に向けた体制整備

従来の県立病院に加えて、福井大学医学部に妊婦対象の集中治療室を備えた「総合周産期母子医療センター」を平成24年度に開設するための改修などを支援します。

さらに、精神科にかかる緊急の医療相談や医療機関の紹介などを行う「精神科救急情報センター」を開設し、24時間相談に対応できる体制を整備するほか、「小児初期救急センター」を平成23年度に設置するための検討を行います。



地域医療を支える医師

② 福井を元気にする新たな計画(子育て・文化・水産業・林業)の実行

元気な子ども・子育ての応援

3月に策定した「第二次福井県元気な子ども・子育て応援計画」に基づき、結婚から妊娠・出産、乳幼児期や就学期などのライフステージに応じたニーズを踏まえ、きめ細かな施策を実施し、元気で力強い子どもの育ちを応援します。

行革財源による子ども医療費助成の拡大

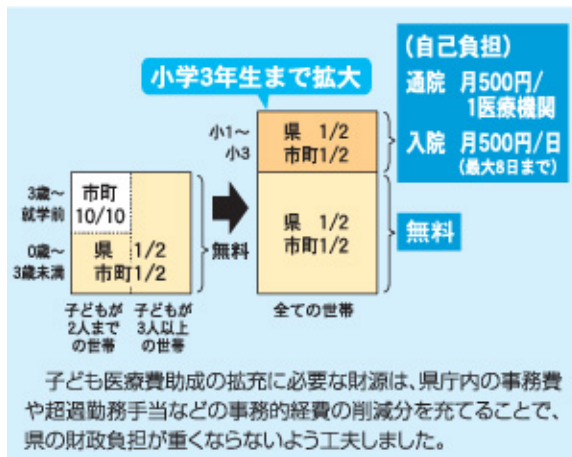
子どもに対する医療費助成を小学3年生まで拡大し、子どもたちが安心して診療を受けられる環境を整えます。

放課後子どもクラブで小学6年生まで受け入れ

希望する全ての子どもを受け入れる体制を整えるため、放課後子どもクラブに対するソフト・ハード両面からの支援を行います。



放課後子どもクラブで過ごす子どもたち



保護者の負担を軽減

保育所に登園後の子どもが急に病気になった場合の、保育士による病児デイケア施設への送迎に対して新たに支援を行います。また、公共施設に一時的に子どもを預けることができる場所を整備し、子育て中に気軽にイベントを楽しめる環境を作ります。

仕事と子育ての両立を実践する企業を応援

従業員と経営者が協力して、子育てしやすい環境の整備に向けた「両立支援宣言」を行い、その実践活動を会社全体で行う企業を募集し、支援します。

子育てに関する労使間の宣言を県レベルで推進するのは全国初です。

結婚を望む人の出会いを応援

若者の出会い・結婚を積極的に応援するため、企業の協力を得て、事業所間の独身者グループの出会いの場と婚活情報を提供するポータルサイト「婚活カフェ」を新たに開設します。さらに、「地域の縁結びさん」として、地域で自発的に縁結びを行っている方々の活動を支援します。

暮らしの中で楽しみ、高める福井文化

教育・文化ふくい創造会議(第3次)の提言に基づき、子どもたちをはじめ県民の皆さんが、数多くの福井の文化に触れる機会を増やす施策を実行します。

子どもたちが文化に触れる機会を創出

県内の小学5年生全員を対象に、県立音楽堂におけるオーケストラの鑑賞や、恐竜博物館やこども歴史文化館への訪問を通じて、文化に触れる機会を提供します。

地域の文化資源をまちづくりに活用

一乗谷朝倉氏遺跡や白山平泉寺旧境内、小浜市小浜西組などの地域の中核となる文化資源をまちづくりの目玉として整備し、観光などの地域振興につなげます。



小浜西組



白山平泉寺旧境内

「文字の国 福井」を全国に発信

福井県出身の漢字・文字研究者白川静博士の生誕百年を契機に、漢字文化についての国際的なシンポジウムを開催するなど、「文字の国 福井」をブランド化して全国にアピールしていきます。

さらに、白川文字学を活用した本県独自の漢字教育を県内全ての小学校で行うなど、白川文字学の更なる普及を図ります。

白川静博士生誕百年記念フォーラムの開催

日時	4月24日(土)
場所	県生活学習館(ユアアイ・ふくい)
内容	福井県の漢字教育への取組みの実例報告 白川文字学を使った漢字あそび大会 古代文字習字教室 など
問い合わせ	県生涯学習課 TEL0776(20)0559



漢字の最初の形「甲骨文字」

獲る・食べる・増やす「ふくいの魚」

消費者の魚離れ、魚価や漁獲量の低迷が続くなか、「ふくいの魚・元気な販売戦略」に基づき、商品力アップや販路開拓を図ります。

漁業者の手による商品力アップの支援

漁業者が船上で行う活じめや漁船での細氷使用など、県内で獲れた新鮮な水産物を高い鮮度で流通させる体制を整備し、商品力のアップを行う漁業者を支援します。



越前がに

おいしい地魚を給食や食卓に提供

福井の冬の代表的な特産物である「せいこがに」をはじめ、四季折々の地魚を学校給食に提供し、子ども達に地魚への関心を高めてもらいます。



獲れたての新鮮な福井の魚

「越前若狭のさかな」の資源増大

全国最大規模の「越前がに」の保護エリアを整備するほか、水産資源の保護や水質浄化を果たす藻場や浅い海辺において、地域住民が行う清掃活動などを支援します。

森林・林業の再生

「ふくいの元気な森・元気な林業戦略」を策定し、森林・林業の再生を図るための施策を実行していきます。

県産材の活用拡大

コミュニティ(集落)単位の地域木材生産組合の設立を進め、組合が行う山ぎわの景観保全、木材生産などを支援します。

また、昔ながらの天然乾燥による県内産スギ材を、「ふくいブランド材」として安定的に生産する体制を整備します。また、県産材を活用した住宅の新築・リフォームに対し助成を行い、県産材の



県産材の生産をサポート

利用を促進します。

鳥獣害のない里づくりの推進

拡大するイノシシ、シカなどの鳥獣害に対応するため、電気柵などの設置の支援や、市町が実施する鳥獣駆除への助成を大幅に拡大します。

緑と花の運動の展開

昨年6月に本県で開催された「第60回全国植樹祭」を契機に展開してきた「緑と花の県民運動」をさらに広げていくため、ガーデニング講習会の開催や学校での花の植栽活動への支援などを行います。



花の寄せ植え講座

③ 福井新元氣宣言の実現

今年で最終年となる「福井新元氣宣言」の実現に向けて、子どもたちの学力の更なる向上やスポーツの振興、がん対策、福井ブランドの発信などに力を入れていきます。

元氣な社会

全国トップの学力を更に向上

小中学生の学力を向上

全国トップの福井の子どもたちの学力をさらに向上させるため、新年度から抽出方式に変更される全国学力・学習状況調査を、これまで通り該当学年(小6・中3)全員を対象に実施します。

また、授業名人などによる授業の公開などを行い、教員の指導力向上につなげるなど、「学力・体力日本一」の名にふさわしい教育環境の充実に力を入れます。

高校生の学力を向上

各県立高校が独自に企画する学力向上のための事業実施を支援します。さらに、ALT(外国語指導助手)による英語キャンプを実施するなど、本物の英語に触れる機会を増やし、高校生の英語力の向上を図ります。



ALTの指導を受ける高校生

不登校へのきめ細かな対応

休みがちな児童生徒の登校への付き添いや、遅れがちな学習のサポートを行う登校支援員を小・中学校に22名配置します。また、スクールカウンセラーなどを、小・中学校に加え新たに定時制高校に配置するほか、高卒資格を取得可能とするフリースクールの活動を支援するなど、本県独自のきめ細かな不登校対策を実施します。

私学教育への支援の拡大

高校授業料の無償化に伴い、私立高校などに就学支援金を交付します。また、低所得世帯の生徒については、県独自の上乗せ助成を行います。

スポーツふくいの推進

スポーツふくい基金の新設

「スポーツふくい基金」を創設し、県民の皆さんが気軽に楽しめる生涯スポーツの振興や世界に通じる優秀な選手の育成に活用するほか、平成30年の国体開催に向けた準備・検討を進めます。



スポーツふくいを推進

「がん予防・治療日本一」の推進

がん検診受診率向上対策の強化

県内の死因の第一位を占めているがんを未然に防ぐため、市町が発行する受診券や検診料金を県内で統一して、希望する時間に希望する医療機関で検診を受けることができるよう個別検診を推進し、がん検診受診率の向上を目指します。

がん医療センター・陽子線がん治療センター（仮称）の整備

昨年2月に県立病院に開設した「がん医療センター」で、「胃がん」に加えて「大腸がん」についても複数の医師らによるチーム医療を開始します。さらに、平成23年3月に県立病院敷地内に「陽子線がん治療センター（仮称）」を開設するなど、日本一のがん治療体制を整備します。



平成23年3月に開設する
陽子線がん治療センター（仮称）

元気な産業

次代を担う元気な産業の育成

企業立地の推進

県内の雇用を創出し、地域産業の活性化につなげるため、福井県内に新たに立地する企業や、市町が行う産業団地の整備に対し助成します。

ブランド複合型の観光産業の振興

東尋坊や芦原温泉、永平寺で目玉となる観光地づくりを行うほか、大都市からの修学旅行や合宿の誘致を進めます。

また、外国人向け観光ルートづくり、免税店や国際宅配便取扱店の導入を働きかけ、海外からの観光客の誘致を促進します。



“奥越さといも”のブランド化

ふくいの農業・農村の再生

コシヒカリ大粒化の技術導入など、福井米のブランド価値向上に向けて支援を行います。また、県内外から人気の高い「奥越さといも」の生産の拡大と日本一のブランド化のため、大規模農家や集落営農組織の育成や選別・冷凍加工のための施設整備について支援を行います。

元気な県土

高速交通時代の にぎわい交流まちづくり

高速交通ネットワークの整備促進

県政発展の社会基盤となる北陸新幹線、中部縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道の1日も早い完成に向けて、沿線市町、関係団体と協力して国や関係機関に強く働き掛けていきます。



北陸新幹線福井駅部



中部縦貫自動車道



舞鶴若狭自動車道

元気な県政

ふるさと福井の環境を守り育てる

福井の環境政策強化に向けた新たな展開

来年度中に地球温暖化対策の計画を新たに策定します。その際、環境交流を進めているドイツ・ザクセンアンハルト州の先進的な事例を調査、反映させます。

福井ブランドの発信強化

日本APECエネルギー大臣会合の開催

今年6月19日・20日に本県で開催される「2010年日本APECエネルギー大臣会合」の成功に向け、関係市や関係団体と一体となって準備を進め、歓迎レセプションやエクスカーションなどを通じて、福井の食、産業、観光地などの本県の魅力を世界に発信します。

福井ブランドの魅力発信

平成23年1月からNHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」の放送が始まりますが、県内には多くのゆかりの地があります。この機会に、県内関係機関で協議会を設置し、本県の歴史・文化を県内外に発信し、観光誘客につなげます。

さらに、昨年12月に実施したふくいナイトビュープラン実証実験の結果などを踏まえて魅力ある夜間景観を形成し、街なかの活性化を図ります。



福井県若狭湾エネルギー研究センター

恐竜博物館の魅力向上

今年開館10周年を迎える県立恐竜博物館。これを記念して、本県で発見された竜脚類などの進化を紹介する特別展を開催するほか、昨年導入したカマラサウルス骨格化石のクリーニング作業の様子を公開するなど館内の展示を充実させ、観光客の増加につなげます。



新しい展示が続き登場する
恐竜博物館(カマラサウルス化石)

ふるさと集落への支援

人口が減少し高齢化が進んでいる集落の活性化を図るため、地域住民が主体となって、伝統行事の復活や地域資源を活用した新ビジネスを始める活動に対して支援します。また、買い物が不便な集落への移動販売や、自治会などが行う自動車での送迎活動に対しても、市町と連携して支援します。

ふるさと納税寄付金を活用した事業の実施

ふるさと納税寄付金を活用し、子どもの放課後の活動場所の拡充や部活動に励む高校生への応援など、ふるさとの未来を担う子どもたちを応援する事業を行います。

政策提案を募集します!

新年度から新たに実施する事業を中心に、
県の主な施策についてアイデアやご意見をお寄せください。

重点募集期間	5月31日(月)まで
事業内容	県ホームページ「 皆様からの政策提案 」、県政情報センター(県庁1階)、各合同庁舎でご覧いただけます。
提案方法	インターネット「 ふくe-ねっと 」または、メール、FAX、郵送 (提案の宛先はこちらをご覧ください)
問い合わせ	県政策推進課 TEL0776(20)0226

詳しい内容は、[県のホームページ](#)に掲載されていますので、ご覧ください。

問い合わせ先: 福井県総務部財務企画課 0776(20)0234

